



大阪府立大学  
女性研究者支援プログラム  
Program for Women in Research of Osaka Prefecture University

# 2019年度 事業報告書

## 大阪府立大学女性研究者支援センター

### プログラム・オフィサーのご挨拶



本事業報告書は、平成 27 年度に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」により、本学的女性研究者の活躍推進に向け、ライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備だけでなく、研究力向上および上位職への積極登用に向けた取組と成果についてまとめています。皆様の参考になれば幸いです。

学長特別補佐（ダイバーシティ研究環境担当）  
女性研究者支援室長  
ダイバーシティ研究環境研究所 所長  
真嶋 由貴恵

### ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)(2015年~2020年)

#### 目的

異分野融合・共同研究の女性研究リーダーへの支援、女性上位職の両立支援など、産学官連携に強みを持つ本学的女性研究リーダー育成のための取組みを推進します。

#### 目標と行動計画

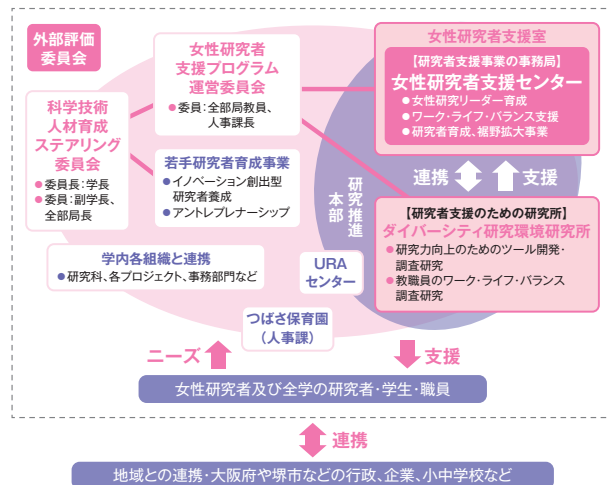
第 3 期（2017 年～ 2022 年度）中期計画と中期目標に目標・行動計画を位置づけます。

- 2016 年度以後、新規採用における女性教員比率 30%
- 2020 年度に、女性教員比率 21%
- 女性教授ゼロの部局ゼロ
- 上位職（教授・准教授・講師）における女性比率 23%
- 上位職（副学長・理事・学長補佐）における女性比率 25%

#### 取組みの概要

- 学内にダイバーシティ研究環境研究所を設立し、女性研究リーダーの育成と上位職に就くための支援を行います。
- 女性比率の数値目標達成のための計画を部局ごとに取組み、達成度の高い部局にインセンティブを付与して支援します。
- 若手女性研究者の支援として、パーソナル・ポートフォリオ（上位職へのロードマップを含む）の活用と研究力強化プログラムを実施します。

#### 実施体制



# 1. 環境整備

## (1) 委員会（委員名簿は裏表紙を参照）

①外部評価委員会	2019年7月開催 総合評価 A + (2018年度事業に対して)
②科学技術人材育成 ステアリング委員会	2回開催 (2019年10月、2020年3月)
③女性研究者支援 プログラム運営委員会	3回開催 (2019年5月・10月、2020年3月)

## (2) 女性研究者増加のための取組み

### ①女性研究者研究環境整備費制度



2019年6月

- ・2018年度の女性教員の採用・昇任・退職の結果から、上位3部局（人間社会システム科学・工学・生命環境科学研究科、順位順）に対して、女性研究者研究環境整備費（100万円）を付与した。
- ・8部局（工学・生命環境科学・理学系・経済学・人間社会システム科学・看護学・総合リハビリテーション学研究科と高等教育推進機構）から、各部局で策定した2019年度の女性教員の採用比率や昇進などについての人事計画が提出された。

### ②女性限定公募の実施

1件の教員公募を女性限定で実施した。

公募期間	2019年9月～11月
研究科（分野）	工学研究科（マテリアル工学分野）
募集職階	助教（テニュアトラック助教）
採用開始予定	2021年4月

## (3) 研究者へのワーク・ライフ・バランス支援

### ①研究支援員の配置（2019年度配置分）

申請：40件→配置：40件  
平均配置時間数（週あたり）：7.4時間

### ②ベビーシッター割引券の発行（2019年度利用分）

利用者：2名、使用枚数：101枚（1人平均51枚）

## (4) 研究者の相談窓口

NEW!

### ①外国人教員の支援ニーズについてのヒアリング

- ・2019年4月：外国人教員支援の体制を整えるため、女性研究者支援センターに、新たに外国人教員支援担当者を置いた。
- ・2019年8月～9月：女性研究者支援センター長・URAセンターのダイバーシティ担当 URA・外国人教員支援担当者3名が、外国人教員6名にヒアリングを行った。

### ②女性研究者の研究力向上にむけた個別ヒアリング

- ・2019年8月～9月：女性教員の研究力向上に向けた個人支援の体制を整えるため、女性研究者支援センターのセンター長とコーディネーター、URAの3名で、新任女性教員10名にヒアリングを行った。

NEW!

## (5) 外国人教員支援策の策定

外国人教員へのヒアリング結果をもとに、サポート環境を整えるための支援策を策定した。

- ①研究支援員制度に外国人枠を設置する。
- ②外国人研究者のためのリンク集を作成し、女性研究者支援センターHPに掲載した。
- ③学内各部署における英語対応の窓口担当者一覧を作成するための準備を行った。

## (6) 全学的意識改革のためのセミナーなど

### ①日経ウーマノミクスフォーラムへの出展



2019年7月（西梅田ハービスホールにて）

- ・ブース・パネル展示：高校生に向けた入試案内や、女性研究者支援事業紹介

NEW!

- ・体験コーナー：中川智皓准教授（工学研究科）が、パーソナルモリティビークルの展示や試乗を行った。

※ IRIS が行った企画については、「IRIS 活動報告集IX」を参照。

NEW!

### ②プロモーション・メンター講座

#### 「学長・副学長を囲んでのランチミーティング」



2019年12月：辰巳砂学長、山手副学長（研究担当）と、本学の教授・准教授の女性8名が、女性研究者支援や研究支援などについて意見交換を行った。

NEW!

### ③ハラスメント講習の実施

2019年11月：経済学研究科教授会にて、ハラスメント講習を行った。

#### ④ロールモデル・セミナー、カフェ

日にち	セミナー名	講師	共催・連携先など	参加数
2019年 5月	ロールモデルカフェ①	 日野綾氏 (株式会社神戸製鋼所)	日経キャリアカフェ	26名
7月	ロールモデルカフェ②	 Lingling Zhang 准教授 (マサチューセッツ大学ボストン校)	大阪府立大学海外ゲスト プロフェッサー事業	67名
11月	ロールモデルカフェ③	 三洋化成工業(株)	IRIS 企業研修と兼ねて	17名
	ロールモデル・セミナー	 國井美和氏 (住友電気工業株式会社)   荒木正太氏 (株式会社NTT ビジネスアソシエ西日本)	大阪府	38名
12月	ロールモデルカフェ④	 Joanna Kraenzle Schneider 教授 (セントルイス大学)	大阪府立大学海外ゲスト プロフェッサー事業	12名


#### ⑤女性研究者休憩室オープン記念 女性教員ランチ交流会


2019年11月：工学研究科と生命環境科学研究科が、女性研究者研究環境整備費を活用して女性研究者休憩室を整備したことを記念してランチ交流会を開催し、10名の女性教員の参加があった。



## II. 研究支援

### (1) スキルアップ支援プログラム

セミナー名	開催日 (キャンパス)	参加数
外部資金獲得セミナー	2019年5月 中百舌鳥キャンパス (羽曳野キャンパス・りんくう キャンパスは中継)	20名
英語論文作成セミナー 	①2019年9月19日(木) 中百舌鳥キャンパス	35名
	②2020年3月4日(水) 羽曳野キャンパス	中止

セミナー名	開催日 (キャンパス)	参加数
プレゼンテーション力向上セミナー 	2019年12月9日(月) 中百舌鳥キャンパス (羽曳野キャンパスは中継)	26名
マネジメント・セミナー	2020年3月23日(月) 中百舌鳥キャンパス (羽曳野キャンパスは中継)	延期

### (2) 研究実践力強化支援プログラム (RESPECT)

女性研究リーダー育成のために学内公募を行い、採択者に研究費を付与した。

申請件数 5件、採択件数 2件

採択者 稲田のりこ 准教授 (生命環境科学研究科)

中澤 昌美 講師 (生命環境科学研究科)



稲田のりこ



中澤 昌美



審査員

## III. 研究者育成

### ●理系女子大学院生チーム IRIS (アイリス)

小中高校生を対象にした裾野拡大事業を実施した。

※活動実績については、「IRIS 活動報告集IX」を参照。





## 利用者の声

### 研究支援員制度

アンケート用紙からデータ入力シートの作成および記述統計などまでできる修士号を有する方に研究支援していただき、研究を推進していく上で非常に大きな力を頂きました。支援員さんは子育て中のためフルタイムで働くことが難しい時期ですが、研究を行う環境に限られた時間でも身を投じることは良い刺激となったようです。

看護学研究科 准教授

### ベビーシッター割引券



常勤の妻と共に2人の子を育てています。シッターさんには月7～8回、1回あたり3～5時間お越しいただき、子たちの送迎と世話、夕食作りなどをしています。シッターさん抜きにしては成り立たない生活ですので、割引券はとても役に立っています。割引券制度が毎年少しずつ拡充しているのもありがたいことです。大変感謝しています。

理学系研究科 川西 優喜

## 委員名簿

### ＝外部評価委員＝

相馬 芳枝	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 名誉リサーチャー
工藤 眞由美	国立大学法人 大阪大学理事・副学長
時岡 禎一郎	一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団評議員
花嶋 温子	大阪産業大学 准教授
植松 あけみ	堺市 市民人権局男女共同参画推進課 課長

### ＝科学技術人材育成ステアリング委員＝

辰巳砂 昌弘	学長
高橋 哲也	副学長、教育推進本部長
西田 正宏	副学長、高等教育推進機構長
山手 丈至	副学長、研究推進機構長、研究推進本部長
吉田 敦彦	副学長、学生センター長
森本 茂雄	工学研究科長
川口 剛司	生命環境科学研究科長
入江 幸右衛門	理学系研究科長
水鳥 能伸	経済学研究科長
牧岡 省吾	人間社会システム科学研究科長
田中 京子	看護学研究科長
奥田 邦晴	総合リハビリテーション学研究科長、 地域保健学域長
大塚 耕司	現代システム科学域長
綿野 哲	工学域長
竹内 正吉	生命環境科学域長
石井 実	国際・社会連携推進本部長
沼倉 宏	学術情報センター図書館長

柳 嘉夫	府立大学事務局長
小野 英利	大学管理部長
大久保 正明	大学運営部長
松井 利之	プログラムオフィサー (TEC & Fledge プログラム)
真嶋 由貴恵	プログラムオフィサー (女性研究者支援プログラム)

### ＝女性研究者支援プログラム運営委員＝

真嶋 由貴恵	学長特別補佐 女性研究者支援プログラム PO 女性研究者支援室長 ダイバーシティ研究環境研究所長 人間社会システム科学研究科 (教授)
森澤 和子	学長補佐 女性研究者支援センター長 工学研究科 (教授)
松井 利之	学長補佐 TEC&Fledge プログラム PO 高度人材育成センター長 高等教育推進機構 (教授)
小笠原 紀行	工学研究科 (准教授)
三宅 眞実	生命環境科学研究科 (教授)
田島 朋子	生命環境科学研究科 (准教授)
山口 夕	生命環境科学研究科 (准教授)
細越 裕子	理学系研究科 (教授)
竹田 恵美	理学系研究科 (准教授)
岡田 光代	経済学研究科 (准教授)
村田 京子	人間社会システム科学研究科 (教授) 女性学研究センター
遠藤 崇浩	人間社会システム科学研究科 (准教授)
中嶋 有加里	看護学研究科 (准教授)
大関 知子	総合リハビリテーション学研究科 (教授)
高平 嘉二	総務部人事課 (課長)